

全体の状況

○ 相談種類別受付件数の年次推移

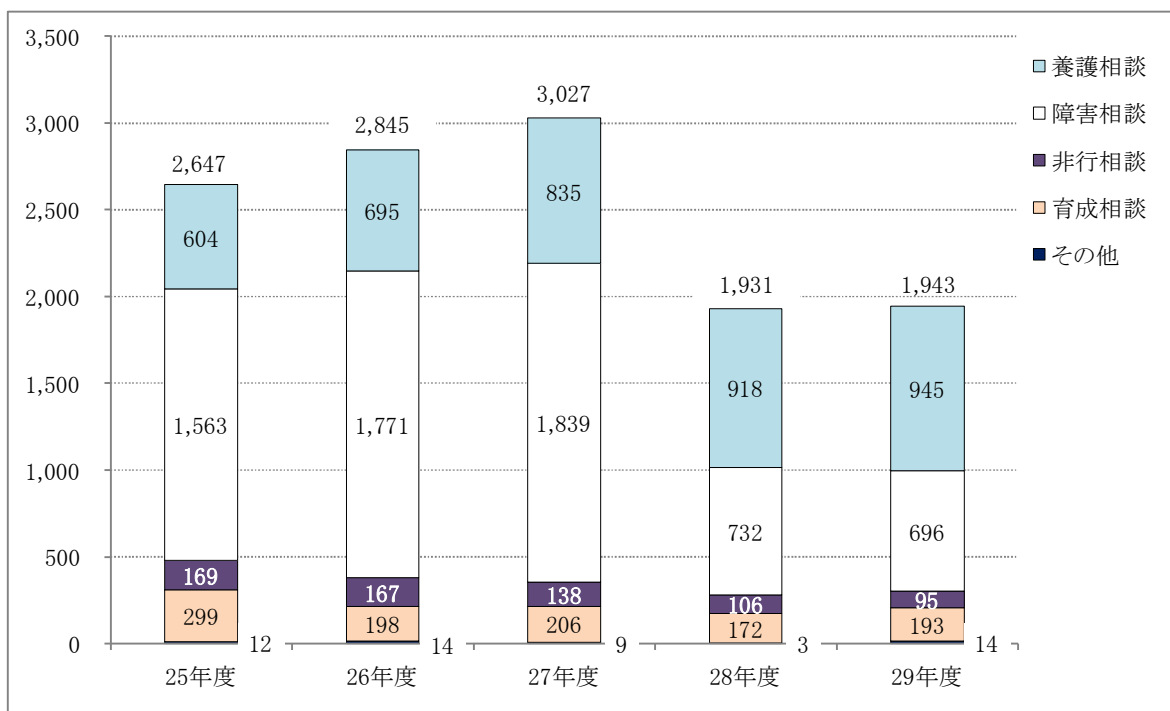
相談種別		H25	H26	H27	H28	H29	
高知県全体	養 護 相 談	604	695	835	918	945	
	うち虐待通告・相談件数	288	383	515	417	453	
	障害相談	肢 体 不 自 由	0	2	2	1	4
		視 聴 覚 障 害	2	0	0	0	0
		言 語 発 達 障 害 等	135	239	177	93	49
		重 症 心 身 障 害	15	38	31	28	33
		知 的 障 害	1,025	1,082	1,184	564	569
		発 達 障 害	386	410	445	46	41
		小 計	1,563	1,771	1,839	732 ※	696 ※
	非行相談	ぐ 犯 行 為 等	87	82	53	52	42
		触 法 行 為 等	82	85	85	54	53
		小 計	169	167	138	106	95
	育成相談	性 格 行 動	250	166	185	156	165
		不 登 校	16	16	15	8	25
		適 性	31	12	2	5	0
		育 児 ・ し つ け	2	4	4	3	3
		小 計	299	198	206	172	193
	そ の 他	12	14	9	3	14	
	計	2,647	2,845	3,027	1,931	1,943	

※平成28年度から特別児童扶養手当に係る判定事務(依頼書の受付等)については障害相談として計上していない。

○ 相談種類別受付件数の年次推移(相談所別)

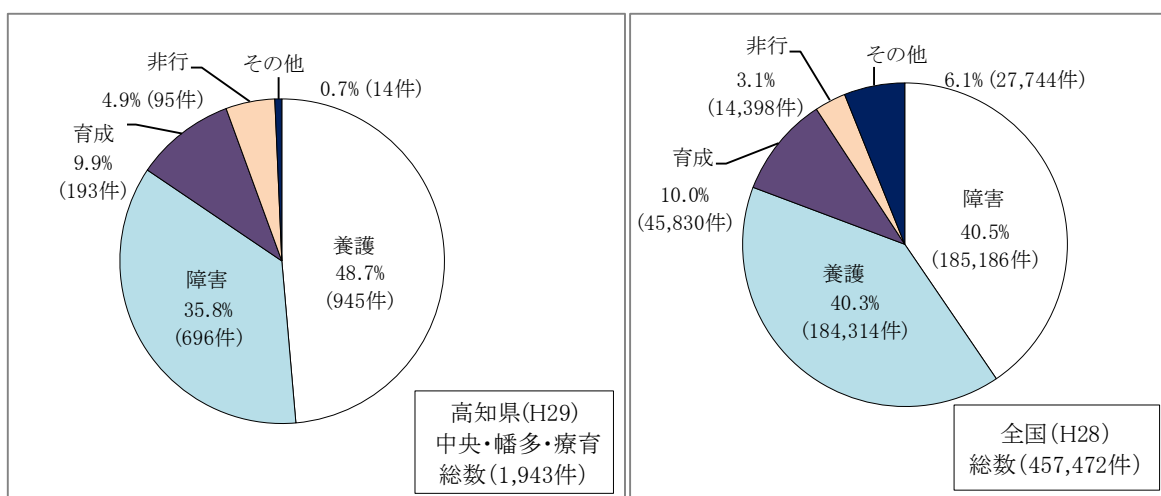
		相談種別	H25	H26	H27	H28	H29
中央児童相談所	養護相談	540	622	749	843	863	
	うち虐待通告・相談件数	262	347	465	398	404	
	障害相談	肢体不自由					
		視聴覚障害					
		言語発達障害等					
		重症心身障害					
		知的障害					
		発達障害計	0	0	0	0	0
	非行相談	ぐ犯行為等	76	72	46	48	39
		触法行為等	77	80	81	53	52
		小計	153	152	127	101	91
	育成相談	性格行動	70	59	74	45	46
		不登校性	8	10	4	6	11
		適児・しつけ		1	2	1	
小計		78	70	80	52	60	
その他		2	1	1			
計	771	846	957	997	1,014		
(中央児童相談所障害児部門)	養護相談	1			4	6	
	うち虐待通告・相談件数						
	障害相談	肢体不自由		2	2	1	2
		視聴覚障害					
		言語発達障害等	94	211	137	74	36
		重症心身障害	11	36	30	26	32
		知的障害	862	894	1,020	489	503
		発達障害計	315	328	369	19	15
	小計	1,282	1,471	1,558	609	588	
	非行相談	ぐ犯行為等				1	1
		触法行為等					
	小計	0	0	0	1	1	
	育成相談	性格行動	127	67	56	40	60
		不登校性					3
適児・しつけ		26	9	1	3		
小計		2	3	2	3		
その他	155	79	59	46	63		
計	1,438	1,550	1,617	660	658		
幡多児童相談所	養護相談	63	73	86	71	76	
	うち虐待通告・相談件数	26	36	50	19	49	
	障害相談	肢体不自由					2
		視聴覚障害	2				
		言語発達障害等	41	28	40	19	13
		重症心身障害	4	2	1	2	1
		知的障害	163	188	164	75	66
		発達障害計	71	82	76	27	26
	小計	281	300	281	123	108	
	非行相談	ぐ犯行為等	11	10	7	3	2
		触法行為等	5	5	4	1	1
	小計	16	15	11	4	3	
	育成相談	性格行動	53	40	55	71	59
		不登校性	8	6	11	2	11
適児・しつけ		5	3	1	1		
小計		66	49	67	74	70	
その他	12	12	8	2	14		
計	438	449	453	274	271		

○相談種類別受付件数の年次推移



(注) 本県では、中央児童相談所管内の障害相談については、療育福祉センターが担当しているため、同センター取扱い分を加えて比較している。

○相談種類別構成比の全国との比較



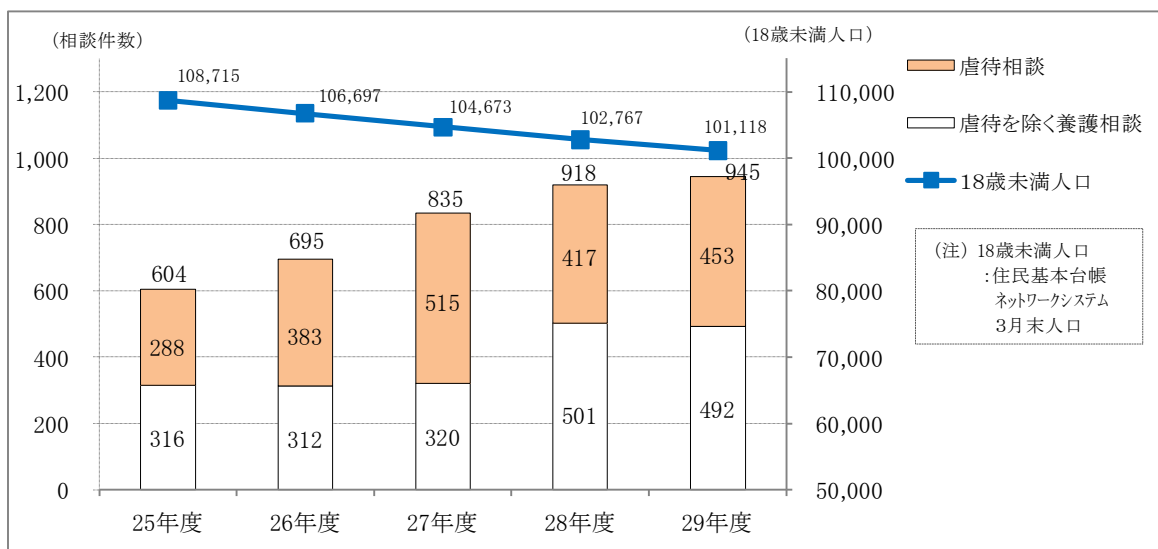
* 出典：厚生労働省『福祉行政報告例』

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
養護	604	695	835	918	945
障害	1,563	1,771	1,839	732	696
非行	169	167	138	106	95
育成	299	198	206	172	193
その他	12	14	9	3	14
計	2,647	2,845	3,027	1,931	1,943

	24年	25年	26年	27年	28年
養護	116,725	127,252	145,370	162,119	184,314
障害	175,285	172,945	183,506	185,283	185,186
非行	16,640	17,020	16,740	15,737	14,398
育成	52,182	51,520	50,839	49,978	45,830
その他	23,429	23,260	23,673	26,083	27,744
計	384,261	391,997	420,128	439,200	457,472

養護相談(虐待相談を含む)と非行相談の状況等

1 子ども人口と養護相談受付件数の推移



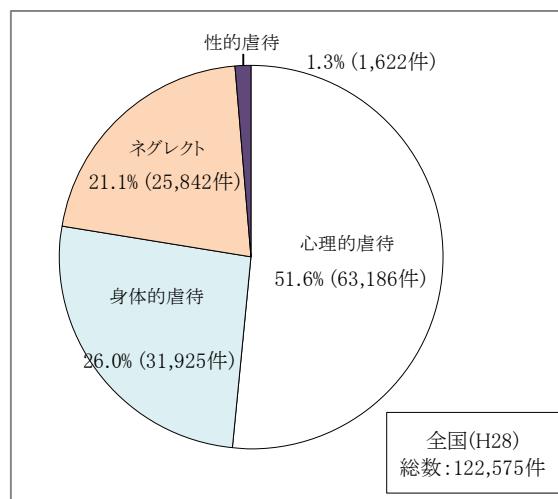
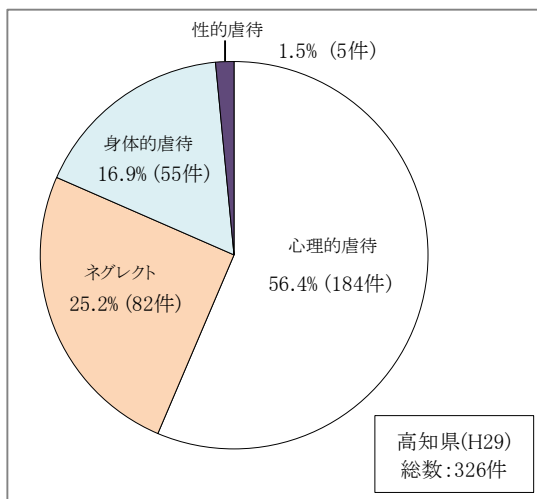
養護相談：養育困難（保護者の家出・失踪、死亡、離婚、入院、就労及び服役等）、迷子に関する相談、及び虐待相談（身体的虐待・心理的虐待・性的虐待・ネグレクトに関する相談）

2 児童虐待(平成29年度)

(1) 児童虐待相談対応件数 (※対応件数:相談受理後、調査し虐待と認定し対応した件数)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
受付件数	288	383	515	417	453
対応件数	181	235	379	291	326

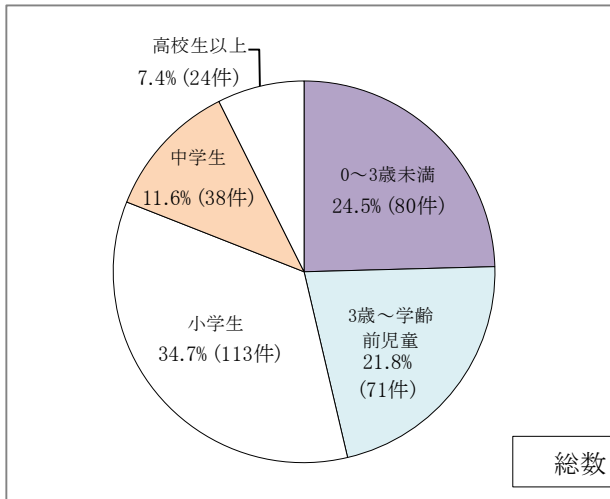
(2) 虐待の種類の構成割合



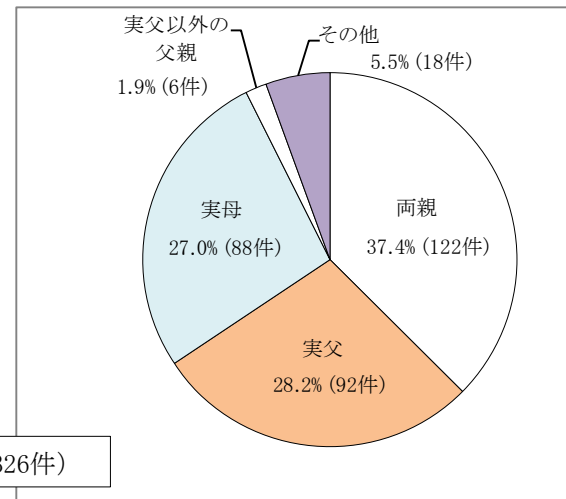
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
心理的虐待	77	105	176	113	184
ネグレクト	50	72	84	99	82
身体的虐待	49	55	114	72	55
性的虐待	5	3	5	7	5
計	181	235	379	291	326

	24年	25年	26年	27年	28年
心理的虐待	22,423	28,348	38,775	48,700	63,186
ネグレクト	19,250	19,627	22,455	24,444	25,842
身体的虐待	23,579	24,245	26,181	28,621	31,925
性的虐待	1,449	1,582	1,520	1,521	1,622
計	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575

(3) 被虐待児の年齢別構成割合



(4) 主たる虐待者



(注) 『その他』は実母と内縁男性(5件)、実母の内縁男性(9件)、
実母と交際相手(1件)、実父と内縁女性(1件)
祖母の内縁男性(1件)、祖父(1件)

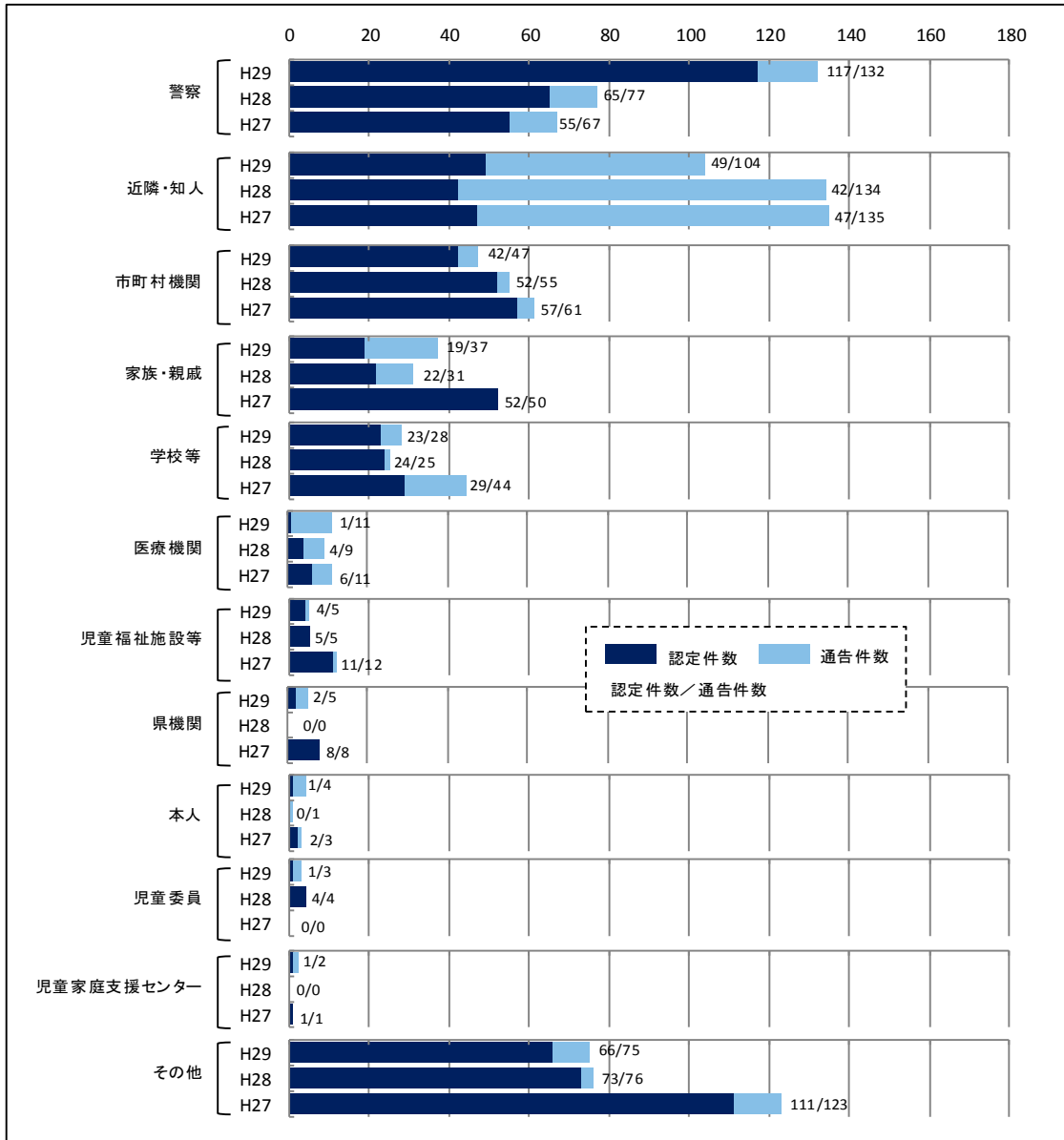
被虐待児の年齢別 (件数)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
0～3歳未満	35	39	74	67	80
3歳～学齢前児童	29	39	94	59	71
小学生	75	88	137	107	113
中学生	33	44	49	38	38
高校生以上	9	25	25	20	24
計	181	235	379	291	326

主たる虐待者 (件数)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
両親		29	71	99	122
実父	30	69	105	58	92
実母	87	108	149	108	88
実父以外の父親	15	17	23	6	6
実母以外の母親	2		3		
その他	47	12	28	20	18
計	181	235	379	291	326

(5) 虐待認定・対応ケースの経路別件数



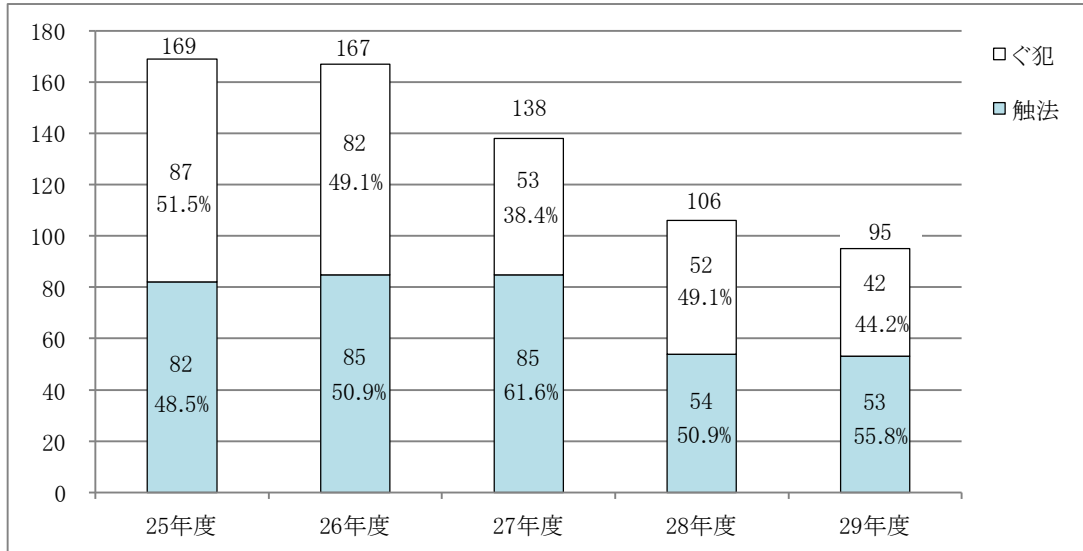
		警察等	近隣・知人	市町村機関	家族・親戚	学校等	医療機関	児童福祉施設等	県機関	本人	児童委員	児童家庭支援センター	その他	計
29年度	認定	117	49	42	19	23	1	4	2	1	1	1	66	326
	通告	132	104	47	37	28	11	5	5	4	3	2	75	453
28年度	認定	65	42	52	22	24	4	5		0	4		73	291
	通告	77	134	55	31	25	9	5		1	4		76	417
27年度	認定	55	47	57	52	29	6	11	8	2		1	111	379
	通告	67	135	61	50	44	11	12	8	3		1	123	515

(注) ※グラフ(2)～(5)は、児童虐待として児童相談所に通告のあった453件のうち、児童虐待として対応した326件について分析したもの。また、虐待として認定されたもののうち、7件が一時保護中のため次年度の件数として持ち越された。

※その他は他県児童相談所やきょうだいケースで虐待認定したもの。

3 非行相談

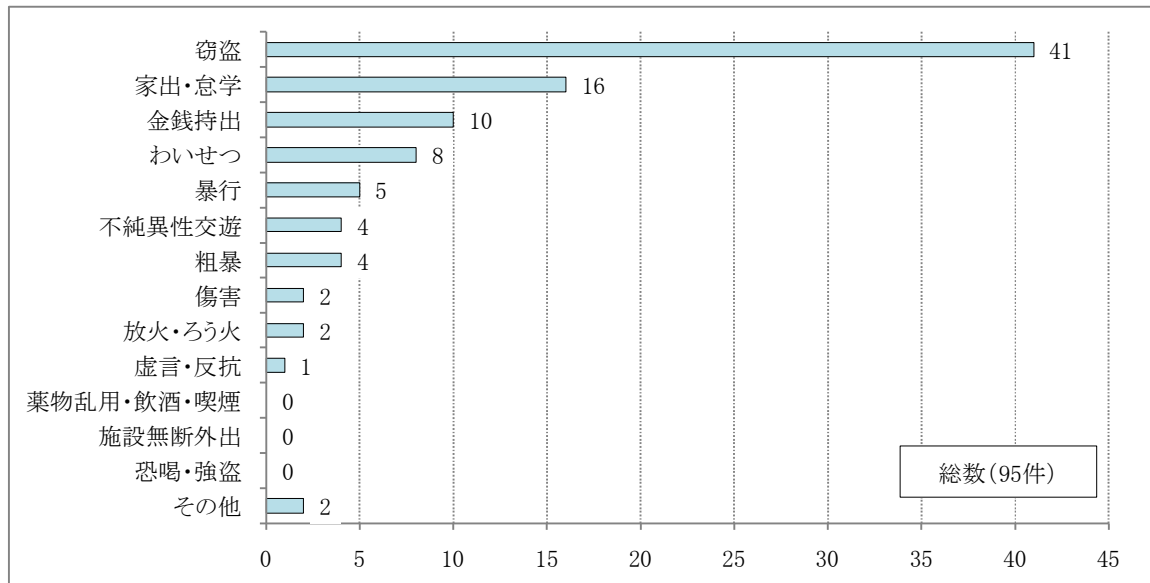
(1) ぐ犯・触法相談受付件数の年次別推移



(注) ぐ犯相談：虚言癖・家出・乱暴・飲酒・不純異性交遊等のぐ犯行為、問題行動のある子ども(ぐ犯少年)に関する相談。

触法相談：窃盗・傷害・放火等触法行為があったとして警察からの通告があった子ども(触法少年)や家裁から送致のあった子ども(犯罪少年)に関する相談。

(2) 非行相談の主訴別件数(平成29年度)



(注) 『その他』の主な内訳：措置延長 2件

	27年度	28年度	29年度
窃盗	57	37	41
家出・怠学	29	20	16
金銭持出	5	9	10
わいせつ	9	8	8
暴行	7	13	5
不純異性交遊	4	3	4
粗暴	3	2	4
傷害	1	2	2
放火・ろう火	2	1	2
虚言・反抗		0	1
薬物乱用・飲酒・喫煙		1	0
施設無断外出	1	1	0
恐喝・強盗	1	0	0
その他	19	9	2
計	138	106	95

一時保護(委託)の状況

	H26年度			H27年度			H28年度			H29年度		
	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計	一保	委託	計
虐待 注	68 (36)	42 (16)	110 (52)	83 (58)	79 (47)	162 (105)	113 (72)	119 (45)	232 (117)	99 (48)	61 (26)	160 (74)
その他	53 (8)	49 (0)	102 (8)	65 (16)	95 (8)	160 (24)	74 (21)	99 (5)	173 (26)	73 (13)	57 (2)	130 (15)
計	121 (44)	91 (16)	212 (60)	148 (74)	174 (55)	322 (129)	187 (93)	218 (50)	405 (143)	172 (61)	118 (28)	290 (89)

※年度内に一時保護を開始した件数

※()は、職権保護数で内数

注:平成28年の公表資料までは国の福祉行政報告例に準じ、当該年度中に虐待認定されたもののみ「虐待」として計上し、前年度までに虐待認定されていたものは「その他」に計上していたが、平成29年の公表から「その他」ではなく「虐待」に計上することとし、平成26年度分まで遡って集計の見直しを行った。このため、平成26・27年度の数値は公表済みの数値と一致しない。